

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
家庭支援論	講義	2	藤井裕子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:現代の子育ての実態や家庭の現状をふまえた家庭支援の在り方、その具体的な方法を学ぶ。

到達目標:1、家庭の意義とその機能について理解し説明できる。

2、現在の社会状況と子育て家庭の現状について学び支援が実践できる。

3、子育て家庭のニーズを把握し多様な支援体制について理解し実行できる。

4、関係機関との連携および協働について理解し実践できる。

【授業の概要】

子どもの健やかな成長を支えるためには子育て家庭への支援が重要である。時代の変化に伴う家庭の現状や変遷について学び、現在の社会状況における家庭支援の意義を学ぶ。支援を必要とする家族の背景と子育ての様々な施策、法整備について理解する。支援の実際的内容について学び今後の課題を検討する。

【全体の授業計画・内容】

1、オリエンテーション、家族・家庭の意義や役割

【事前学習】最近のニュースから家族や家庭支援に関するものを読みまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

2、家庭支援の理念、目的、構造

【事前学習】家庭の意義や目的、構造の変化について読みまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

3、現代社会における子育て家庭の現状と課題

【事前学習】最近の子育て家庭の現状と問題点を配布資料から読みまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

4、子育て家庭支援にかかわる法律、次世代育成支援の新制度や施策

【事前学習】配布資料読み子育て家庭への支援施策についてまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

5、家庭支援の実際(1)保育所・幼稚園における家庭支援

【事前学習】配布資料を読み要点をまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

6、家庭支援の実際(2)学校における家庭支援

【事前学習】配布資料を読み要点をまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

7、家庭支援の実際(3)障害のある子どもと家庭支援

【事前学習】配布資料を読み要点をまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

8、家庭支援の実際(4)児童虐待の疑いが見られる子どもと家庭支援

【事前学習】最近のニュースから児童虐待に関するものを読みまとめる(0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)

<p>9、家庭支援の実際(5)特別な配慮を必要とする家庭支援</p> <p>【事前学習】最近のニュースから特別支援に関するものを読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>10、乳児院、児童養護施設等、要保護児童への家庭支援</p> <p>【事前学習】配布資料を読み要点をまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>11、家庭支援の展開、援助計画の作成</p> <p>【事前学習】配布資料を読み援助計画について要点をまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>12、家庭支援の記録、省察、評価</p> <p>【事前学習】援助計画の省察、評価に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>13、地域の関係機関との連携と協働</p> <p>【事前学習】地域の関係機関について調べまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>14、これからの家庭支援のありかた</p> <p>【事前学習】配布資料をもとに自分の考えをまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>15、筆記試験およびまとめ</p> <p>【事前学習】講義全体をふりかえり疑問点をまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートに総合的にまとめる(0.5時間)</p>
<p>【学習のあり方】日頃から新聞やニュースで子どもや家族に関する情報に注意しておく。</p>
<p>【成績評価】定期試験:講義最終回に筆記試験(50%)</p> <p>平常試験:筆記試験およびレポート(50%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】毎回リアクションペーパーを用い学習状況を確認し、次回の講義で解説を行い質疑応答に対応する。</p> <p>提出されたレポートはコメントをつけて返却する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>特になし、毎回、資料配布する</p>
<p>【参考文献】</p> <p>内閣府「幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」チャイルド本社</p> <p>橋本真紀・山縣文治編「よくわかる家庭支援論」ミネルヴァ書房、</p> <p>阿部和子「家庭支援論」萌文書林</p>
<p>【実務経験の有無】実務経験など：教育委員会のスクールカウンセラーおよびスーパーバイザーとして勤務、東日本大震災等における緊急支援教育活動、教員や保育者研修の講師</p>